

第 18 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成8年6月26日(水)
10:30～12:00
 2. 場 所 委員会会議室
 3. 議 題
 - (1) 前回議事要旨の確認について
 - (2) M-Vロケット1号機/MUSES-Bの打上げ計画について
 - (3) ALFLEX計画について
 - (4) TR-1A5号機打上げについて
 - (5) 固体ロケットモータ指令破壊試験について
 - (6) 計画調整部会構成員について
 - (7) 第21回日・ESA行政官会合の結果について
 4. 資 料
 - 委18-1 第17回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)
 - 委18-2 M-V-1号機打上げについて
 - 委18-3-1 小型自動着陸実験(ALFLEX)の実施計画
 - 委18-3-2 小型自動着陸実験(ALFLEX)の安全について
 - 委18-4-1 宇宙実験小型ロケット5号機打上げ計画書(案)
 - 委18-4-2 宇宙実験小型ロケット(TR-1A)5号機の打上げに係る安全対策について
 - 委18-5 固体ロケットモータ指令破壊試験
 - 委18-6 計画調整部会構成員(案)
 - 委18-7 第21回日・ESA行政官会合の結果について

委 18-1

第17回宇宙開発委員会（定例会議） 議事要旨（案）

1. 日時 平成8年6月19日（水）
14:00～16:00

2. 場所 委員会会議室

3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
(2) 地球観測プラットフォーム技術衛星／Ｈ－Ⅱロケット4号機の打上げについて
(3) アリアン5型ロケット1号機の失敗について
(4) タイ国リモートセンシング関係機関との意見交換結果について

4. 資料 委17-1 第16回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委17-2 地球観測プラットフォーム技術衛星／Ｈ－Ⅱロケット4号機打上げ及び追跡管制計画書（案）
委17-3-1 アリアン5型ロケット1号機の失敗について
委17-3-2 アリアン5型ロケット試験機の失敗について
委17-4 タイ国リモートセンシング関係機関との意見交換結果について

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

野 村 民 也

宇宙開発委員会委員

山 口 開 生

〃

末 松 安 晴

〃

長 柄 喜一郎

関係省庁

文部大臣官房審議官（学術国際局担当）

中 西 釦 治（代理）

通商産業省機械情報産業局次長

一 柳 良 雄 〃

運輸省運輸政策局次長

龍 野 孝 雄 〃

郵政大臣官房技術総括審議官

岡 井 元 〃

事務局

科学技術庁研究開発局長

加 藤 康 宏

科学技術庁研究開発局宇宙政策課長

林 幸 秀 他

6. 議事

(1) 前回の議事要旨の確認について

第16回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委17-1）が確認された。

(2) 地球観測プラットフォーム技術衛星／Ｈ－Ⅱロケット４号機の打上げについて

宇宙開発事業団より、資料委１７－２に基づき、地球観測プラットフォーム技術衛星（ＡＤＥＯＳ）／Ｈ－Ⅱロケット４号機の打上げについて、平成８年８月１７日打上げ予定であること、また、ＡＤＥＯＳ及び相乗りするアマチュア衛星３号（ＪＡＳ－２）の主要諸元、ロケット及びＡＤＥＯＳの飛行計画、追跡管制計画等について説明があり、原案のとおり了承された。

これに関し、委員より、ＡＤＥＯＳにセンサーを搭載する各機関の間でのデータの提供、利用、費用の分担及びＪＡＳ－２の追跡等の役割分担について質問がなされるとともに、打上げに際しては万全を期して取り組むようにとの発言があった。

(3) アリアン５型ロケット１号機の失敗について

宇宙開発事業団及び（株）ロケットシステムより、資料委１７-3-1、17-3-2に基づき、６月４日の欧州宇宙機関（ＥＳＡ）が開発したアリアン５型ロケット１号機の打上げ失敗について、事故原因は搭載コンピューターのソフトウェア異常の可能性があること等、また、ＥＳＡ及び仏国の国立宇宙研究センター（ＣＮＥＳ）の事故調査委員会において、７月１５日までに、事故原因の解明及び必要な是正対策処置等の調査結果がまとめられる予定であること、アリアン４号機が継続使用されることでアリアンスペース社のビジネス上の影響は小さく、今回の事故による国際打上げビジネスの市場に対する実質的な影響は殆ど無いと思われること等の説明があった。

これに関し、委員より、事故時の推進系の状況、また、アリアン社のロケット打上げ費用等について質問があった。

(4) タイ国リモートセンシング関係機関との意見交換結果について

事務局より、資料委１７－４に基づき、地球観測衛星から得られる観測情報の有効利用を図るために、その利用に関するテーマの抽出を目的として、６月１０日～１４日に行われたタイ国リモートセンシング関係機関との意見交換の結果について報告があった。

これに関し、委員より、我が国のタイ国への協力状況や我が国への要望に対する今後の対応等について質問があるとともに、長期的な研究者派遣等による技術指導についても、今後検討していく必要があるとの発言があった。

以上